



— 連携型中高一貫教育校 —
小瀬高校 学校だより
小瀬高 SPIRITS & PRIDE

令和元年度 第4号
茨城県立小瀬高等学校
令和元年 5月9日

【さくら祭り 吹奏楽部演奏】

4月21日(日)、やすらぎの里公園さくら祭りにおいて、本校吹奏楽部が明峰中学校吹奏楽部と合同で「シンデレラガール」など3曲を披露しました。中学生とも息の合った素晴らしい演奏でした。日頃の練習の成果がよく表れていました。今後も、音楽を通して様々な行事に参加することで、自ら高めていくことを期待します。



【生徒総会開催】

4月23日(火)に生徒会役員の生田目祐太郎さんの進行で、生徒総会が開催されました。議長には三木拓弥さん(3-1)と桑名萌さん(3-2)が推薦され、議事を進めました。平成30年度生徒会行事と決算について野上純杜さん(2-2)と廣木裕哉さん(3-1)から報告され、今年度の生徒会行事、各種委員会行事、生徒会予算について、生徒会や各委員会委員長から報告があり、審議が行われました。

また、小野瀬萌さん(3-1)からは、小瀬高校の良さをもっと自分達でアピールし、小瀬高校と地域の連携を強めるために、小瀬高ポスターを生徒みんなで地域のお店などに届けながら、みんなで小瀬高校を盛り上げ、より良い学校にしていこうと、協力の要請を全生徒にしました。

最後に、生徒から、式典以外で短い靴下をはいてもよいのではないかという意見が出され、それに対して審議しました。「女子の気持ちになってみればよいと思う」「社会人になったときに、ルールを守っていくことが必要」「短くしてもよいが、来客があるときに問題なのではないか」等の意見が出され、この内容について、改めてアンケートを取りながら考えることになりました。小瀬高等学校がさらによりよい学校となり、生徒の一人一人の学校生活を充実させていきたいという気持ちが表れた生徒総会でした。



生徒会のメンバーより



議長団の生徒たち



各生委員会らの報告



生徒からの意見

小野瀬陽香(2-2)さんより

私が生徒総会で学んだことは、発言をすることの大切さと校則やきまりは簡単に変えられないことです。総会で自分の意見を述べ、討論することができ、とてもよい経験になりました。



【デュアルシステム生徒決意表明】

4月26日(金)に福祉コースのデュアルシステム運営委員会があり、その中で決意表明を行いました。「将来介護福祉士になりたいので、教えてもらう一つ一つのことを心に刻んでいきたい」「この1年で基礎を学び、資格を取りたい」「しっかり勉強して実習に臨みたい」等、一人一人からしっかりした態度で決意表明が述べられました。

このデュアルシステムで学んだことを生かして、小瀬高等学校を卒業した先輩たちが介護福祉士として立派に社会に貢献しています。実習を通して色々なことを学び、考え、将来に生かしていって欲しいと願っています。



決意表明 小野瀬萌(3-1)さんより

私は、実習を通してコミュニケーション能力を鍛えていきたいと思えます。より多くの利用者様や施設の方々と関わり、たくさんの知識を身に付けていこうと思います。

